

## 刊行にあたって

「バブル崩壊」という経済的な事件が、日本で1990年近辺に起こりました。1945年に第二次世界大戦に敗戦した日本は、戦後の復興から、約半世紀にわたる経済成長をとげましたが、「バブル崩壊」は「高度経済成長」から続いていた日本の右肩上がりの時代の終わりを告げるものでした。

それ以降、日本では「失われた30年」とも言われる沈滞の時代が続いています。

「一億総中流」と呼ばれ、がんばれば誰もが豊かになれると信じられた社会から、貧困率が上昇し続ける「格差社会」へと、日本の社会は姿を変えつつあります。子どもたちの生活においても、「7人に1人」が貧困であると言われています。

貧困は子どもたちから教育の機会を奪います。子どもが成長して親になったときに、教育の不足ゆえに低い収入で働き続けることを受け入れざるを得なかったとすれば、その次の世代の子どもも、また貧困に苦しみ、十分な教育から遠ざけられかねません。これは「貧困の連鎖」「格差の連鎖」と呼ばれています。

また、教育の不足で十分な収入が得られないために、不本意ながら結婚や出産をあきらめる人たちもいることでしょう。青壮年の貧困は「少子化」の大きな原因のひとつともなっています。

こういった悪循環は、日本の現在の大人である私たちが作りだしたものであり、子どもたちには何の責任もありません。この悪循環を止めるにはいろいろな方法があるかと思いますが、「高齢化」が進行し、福祉にますます財源が必要になる中でも、貧しさが原因で子どもが学びをあきらめるような社会をつくってはならないと、私たちは考えています。

『ワンコイン参考書・問題集（税別500円）／ツーコイン電子参考書・電子問題集（税別200円）』は、未来を担う日本の子どもたちが安くても良質な参考書・問題集を手にとれるようにとの思いで刊行しました。この理念に賛同してくれた著者の先生や、制作会社、印刷会社の人たちのおかげで、このシリーズを刊行することができました。

子どもたちよ、どうか「学びを、あきらめない」でください。このシリーズが子どもたちの役に立つことを祈っています。

2022年10月27日 日栄社編集部

# もくじ 小5算数問題集

第1章	整数と小数	4
第2章	直方体や立方体の体積	8
第3章	比例 <sup>ひれい</sup>	24
第4章	小数のかけ算	32
第5章	小数のわり算	58
第6章	合同な図形	84
第7章	整数	100
第8章	分数のたし算とひき算	112
第9章	四角形と三角形の面積	132
第10章	平均 <sup>へいきん</sup>	152
第11章	単位量あたりの大きさ	160
第12章	分数と小数, 整数の関係	166
第13章	割合 <sup>わりあい</sup>	172
第14章	円と正多角形	184
第15章	帯グラフと円グラフ	196
第16章	角柱と円柱	208
第17章	速さ	216
第18章	変わり方	228
かい 解	とう 答	236

# 第 1 章 整数と小数

## 1. 基本問題

解答 236ページ

1 次の  に、適切な数を入れましょう。

$$\textcircled{1} 2.312 = 1 \times \text{A} + 0.1 \times \text{B} + 0.01 \times \text{C} + 0.001 \times \text{D}$$

2.312は、0.001を  個集めた数です。

{ (A) (B) }

{ (C) (D) }

{ (E) }

②小数や整数を10倍，100倍，1000倍すると，小数点は  
 右にそれぞれ  けた，  けた，   
 けた<sup>うつ</sup>移るので，1.219を10倍，100倍，1000倍した数  
 はそれぞれ，  ，  ，  です。

③小数や整数を $\frac{1}{10}$ 倍， $\frac{1}{100}$ 倍， $\frac{1}{1000}$ 倍すると，小数点は  
 左にそれぞれ  けた，  けた，   
 けた<sup>うつ</sup>移るので，822を $\frac{1}{10}$ ， $\frac{1}{100}$ ， $\frac{1}{1000}$ にした数はそ  
 れぞれ，  ，  ，  です。

## 2. 練習問題

1 次の  に、<sup>てきせつ</sup>適切な数を入れましょう。

$$\textcircled{1} 3.58 = 1 \times \text{A} + 0.1 \times \text{B} + 0.01 \times \text{C}$$

[ (A)                      B                      C ) ]

$$\textcircled{2} 6.12 = 1 \times \text{A} + 0.1 \times \text{B} + 0.01 \times \text{C}$$

[ (A)                      B                      C ) ]

2 次の  に、<sup>てきせつ</sup>適切な不等号を入れましょう。

$$\textcircled{1} 0 \text{  } 0.01 \qquad \textcircled{2} 12.4 - 4 \text{  } 12$$

[                      )                      [                      ) ]

3 次の数は 0.001 を <sup>なんご</sup>何個集めた数ですか。

$$\textcircled{1} 5.986 \qquad \textcircled{2} 24.36$$

[                      )                      [                      ) ]

4 次の数は72.3を何倍した数ですか。

① 723

② 7230

{ }

5 次の数は389.4を何分の1にした数ですか。

① 38.94

② 0.3894

{ }

6 東京タワーの高さは333mです。 $\frac{1}{1000}$ の高さの<sup>もけい</sup>模型を作るとき、高さは何cmになるでしょうか。

{ }

7 ②, ④, ⑥, ⑦のカードを1枚ずつ

全部使い、右の□にあてはめて小数を

つくります。次の問いに答えましょう。

□.□□□

① つくれる数のうち、いちばん小さい数を求めましょう。

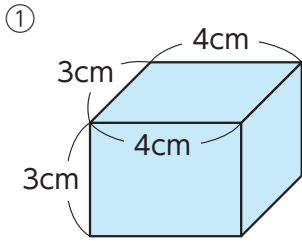
{ }

② つくれる数のうち、2番目に大きい数を求めましょう。

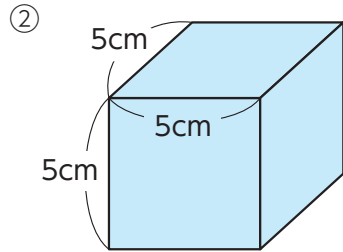
{ }



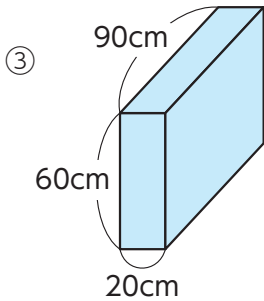
**3** 次の直方体や立方体の体積を求めましょう。



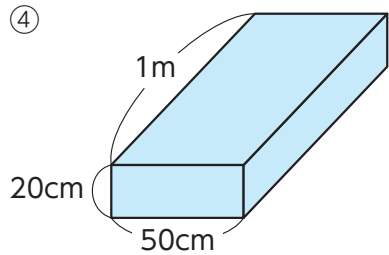
{ } cm<sup>3</sup>



{ } cm<sup>3</sup>



{ } cm<sup>3</sup>



{ } cm<sup>3</sup>

**4** 次の体積を求めましょう。

① 1辺が7cmの立方体

{ } cm<sup>3</sup>

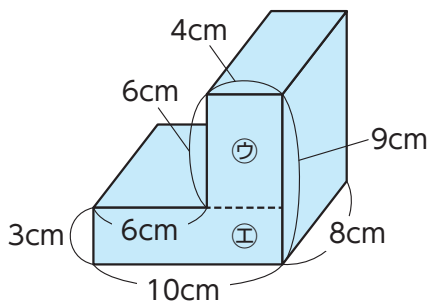
② たて12cm，横9cm，高さ5cmの直方体

{ } cm<sup>3</sup>





(2) ㊦と㊧の2つの直方体に分けて、それぞれの直方体の体積をたします。



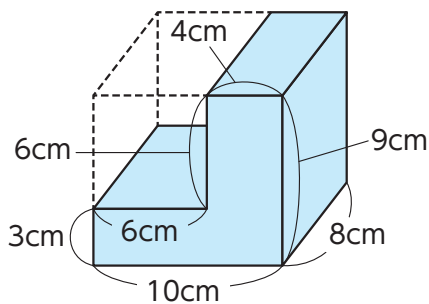
$$\text{㊦} = 8 \times 4 \times 6 = \boxed{\text{㉔}} \text{ (cm}^3\text{)}$$

$$\text{㊧} = 8 \times 10 \times \boxed{\text{㉕}} = \boxed{\text{㉖}} \text{ (cm}^3\text{)}$$

$$\text{この図形の体積は, } \boxed{\text{㉔}} + \boxed{\text{㉖}} = \boxed{\text{㉗}} \text{ (cm}^3\text{)}$$

【㉔                      ㉕                      ㉖                      ㉗】

(3) 大きな直方体の体積から、左上の小さな直方体の体積をひきます。



$$\text{大きな直方体} = 8 \times 10 \times \boxed{\text{㉘}} = \boxed{\text{㉙}} \text{ (cm}^3\text{)}$$

$$\text{左上の小さな直方体} = 8 \times 6 \times 6 = \boxed{\text{㉚}} \text{ (cm}^3\text{)}$$

$$\text{この図形の体積は, } \boxed{\text{㉙}} - \boxed{\text{㉚}} = \boxed{\text{㉛}} \text{ (cm}^3\text{)}$$

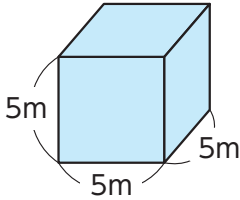
【㉘                      ㉙                      ㉚                      ㉛】



## 2. 大きな体積

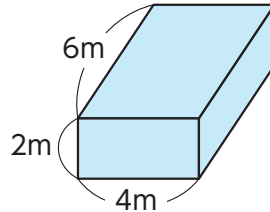
1 次の直方体や立方体の体積を求めましょう。

①



{ } m<sup>3</sup>

②



{ } m<sup>3</sup>

2 次の体積を求めましょう。

① たて 5m, 横 3m, 高さ 8m の直方体

{ } m<sup>3</sup>

② 1 辺が 2m の立方体をたてに 3 つ積み上げた直方体

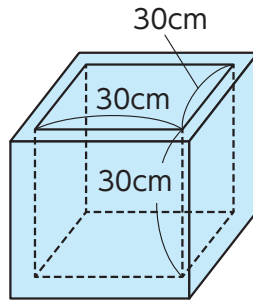
{ } m<sup>3</sup>





2 右のような容器の容積は何  $\text{cm}^3$

ですか。

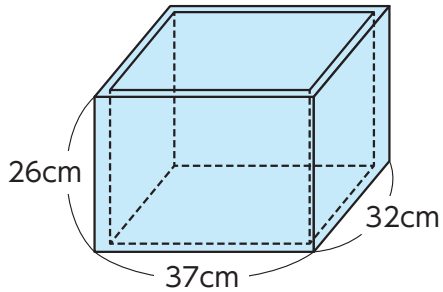


{ }  $\text{cm}^3$

3 右のような容器の容積は

何  $\text{cm}^3$  ですか。ガラスの

厚さは 1 cm です。



{ }  $\text{cm}^3$

## 4. 体積の単位の関係

### 1 長さの単位と体積の単位の関係を調べてみましょう。

(1) 1辺が1cmの立方体の体積は $1\text{cm}^3$ です。1辺が10cmの立方体の体積は $1000\text{cm}^3$ です。つまり、1辺の長さが10倍になると、立方体の体積は  倍になります。

次に、1辺が1mの立方体の体積は、 $1\text{m} = 100\text{cm}$ だから、 $100 \times 100 \times 100 = 1000000\text{cm}^3$ です。

つまり、1辺の長さが100倍になると、立方体の体積は  倍になります。

【①

②

】

(2)  $1\text{mL} = 1\text{cm}^3$ です。

1Lは1000mLだから、1Lは   $\text{cm}^3$ です。

次に、 $1\text{dL} = 100\text{mL}$ だから、

1dLは  L =   $\text{cm}^3$ です。

次に、 $1\text{kL} = 1000\text{L}$ だから、

1kLは   $\text{cm}^3 =$    $\text{m}^3$ です。



つまり、1Lは1dLの  倍、  
 1dLは1mLの  倍、1Lは1mLの  倍、  
 1kLは1Lの  倍です。

- 【①                      ②                      ③                      】  
 【④                      ⑤                      ⑥                      】  
 【⑦                      ⑧                      ⑨                      】

**2**次の表を完成させましょう。

1辺の長さ	1cm	10cm	1m
正方形の面積	1cm <sup>2</sup>	100cm <sup>2</sup>	1m <sup>2</sup>
立方体の体積	1cm <sup>3</sup> <input type="text" value="①"/> mL	1000cm <sup>3</sup> <input type="text" value="②"/> dL, <input type="text" value="③"/> L	1m <sup>3</sup> <input type="text" value="④"/> L, <input type="text" value="⑤"/> kL

- 【①                      ②                      ③                      】  
 【④                      ⑤                                           】

3 次の  にあてはまる数を求めましょう。

①  $5\text{m}^3 = \text{ L}$

{ }

②  $30000\text{cm}^3 = \text{ L}$

{ }

③  $5.5\text{L} = \text{ cm}^3$

{ }

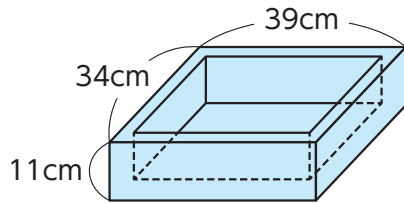
④  $100\text{m}^3 = \text{ kL}$

{ }

## 5. 練習問題

かいとう  
解答 237ページ

- 1 <sup>あつ</sup>厚さ2cmの板で作った、  
右のような直方体の<sup>ようき</sup>容器が  
あります。この<sup>ようき</sup>容器の<sup>よう</sup>容  
<sup>せき</sup>積は何 $\text{cm}^3$ ですか。また、  
それは何Lですか。



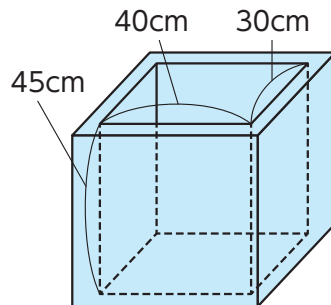
{ }  $\text{cm}^3$  { } L

- 2 1辺が20cmの立方体の水そうがあります。この水そうの<sup>よう</sup>容  
<sup>せき</sup>積は何 $\text{cm}^3$ ですか。また、それは何mLですか。ガラスの<sup>あつ</sup>厚  
さは1cmです。

{ }  $\text{cm}^3$  { } mL

- 3 右のような直方体の水そうを  
作りました。

- ①この水そうの<sup>ようせき</sup>容積は何 $\text{cm}^3$   
ですか。また、それは何L  
ですか。



{ }  $\text{cm}^3$  { } L

②この水そうに30Lの水を入れました。今、水そうの底面から水面までは深さ25cmです。あと10cm水位を上げたいとき、何L水をたせばいいでしょうか。

{ } L

③今、水そうの底面から水面までの深さが35cmになりました。さらに6L水をたすと、水そうの底面から水面までは、何cmになるでしょうか。

{ } cm

#### 4 体積がわかっている直方体があります。

①体積 $6000\text{cm}^3$

たて30cm、横20cmのとき、高さは何cmになるでしょうか。

{ } cm

②体積 $300\text{m}^3$

たて5m、横6mのとき、高さは何mになるでしょうか。

{ } m

③体積15L

たて20cm，横15cmのとき，高さは何cmになるでしょうか。

{ } cm

④体積12kL

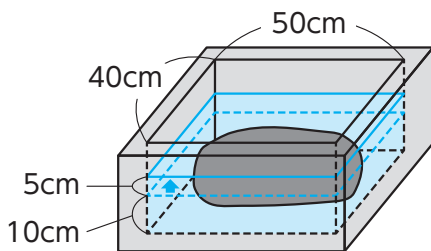
たてと横がそれぞれ2mのとき，高さは何mになるでしょうか。

{ } m

**5**内のりが，たて30cm，横55cmの容器<sup>ようき</sup>があります。この容器<sup>ようき</sup>に，底辺から水面までの深さが15cmのところまで水を入れました。水の体積は何 $\text{cm}^3$ ですか。

{ }  $\text{cm}^3$

6 内のりが、たて40cm、  
横50cmの右のような  
水そうがあります。



①今、深さが10cmのところまで水が入っています。ここに、石のかたまりを入れると、全体が水の中に沈<sup>しず</sup>み、水位が5cm上がりました。このとき、石のかたまりの体積は何 $\text{cm}^3$ ですか。

{ }  $\text{cm}^3$

②この水そうにさらに水をたしていくと、さらに14L入ったところでいっぱいになりました。この水そうの内のりの高さは何cmですか。

{ } cm